

奨学褒賞授賞に関する内規

平成 22 年 11 月 19 日理事会承認

平成 23 年 1 月 21 日理事会承認

1. 日本船舶海洋工学会奨学褒賞授賞はこの内規による。
2. 授賞の対象
 - (1) 授賞者推薦照会先に示す船舶海洋関係大学の学部及び大学院（修士課程）卒業予定者及び高等専門学校、高等学校の卒業予定者にて優秀な成績を修めた者を対象とする。
 - (2) 受賞者は本会会員に限らない。
3. 推薦手続
 - (1) 推薦照会先には各校卒業式の約 2 ヶ月前に本会から推薦依頼を行う。
 - (2) 推薦者は本会が指定した書類に必要事項を記入の上、本会宛提出するものとする。
4. 審査及び授賞
理事会は各大学、高等専門学校及び高等学校の推薦に基づいて審議・決定し、賞状の送付をもって授賞とする。
5. 授賞者推薦照会先
別紙の通りとする。

附 則

- (1) この内規は、平成 22 年 11 月 1 日から施行する。
- (2) この内規の変更は理事会の承認のあった日（平成 23 年 1 月 21 日）から施行する。

(別紙) 奨学褒賞授賞者推薦照会先

(1) 大学の部

No.	学校名	推薦基準
1	東京大学工学部システム創成学科 新領域創成科学研究科	各大学の学部及び大学院専攻（修士課程）の卒業予定者のなかから船舶海洋工学分野を履修し卒業研究を実施した成績優秀な者をそれぞれ1名ずつ推薦する。 (照会先：学科主任) 計18名
2	横浜国立大学工学部建設学科 海洋空間のシステムデザイン教室	
3	大阪大学工学部地球総合工学科 船舶海洋工学科目	
4	広島大学工学部第四類	
5	九州大学工学部地球環境工学科 船舶海洋システム工学コース 大気海洋環境システム学専攻	
6	大阪府立大学工学部 海洋システム工学科	
7	長崎総合科学大学工学部 船舶工学科	
8	東海大学海洋学部 マリンデザイン工学科	
9	東京海洋大学海洋工学部	東京海洋大学海洋工学部の学部及び大学院（修士課程）の卒業予定者のなかから船舶海洋工学分野を履修し卒業研究を実施した成績優秀な者をそれぞれ3名（学部）及び1名（修士課程）を推薦する。 (照会先：海洋工学部長) 計4名
10	神戸大学海事科学部	神戸大学海事科学部の学部及び大学院（修士課程）の卒業予定者のなかから船舶海洋工学分野を履修し卒業研究を実施した成績優秀な者をそれぞれ3名（学部）及び1名（修士課程）を推薦する。 (照会先：海事科学部長) 計4名
11	海技大学校	海技大学校海上技術科の卒業予定者のなかから成績優秀な者を2名推薦する。 (照会先：校長) 計2名
12	海上保安大学校	海上保安大学校の卒業予定者のなかから成績優秀な者を2名推薦する。 (照会先：校長) 計2名

(2) 商船高等専門学校・高等学校の部

No.	学校名	推薦基準
1	富山商船高等専門学校	各商船高等専門学校・商船学科の卒業予定者のなかから成績優秀な者を2名ずつ推薦する。 (照会先：校長) 計10名
2	弓削商船高等専門学校	
3	大島商船高等専門学校	
4	広島商船高等専門学校	
5	鳥羽商船高等専門学校	
6	山口県立下関中央工業高等学校 機械造船科	卒業予定者のなかから成績優秀な者を1名推薦する。 (照会先：校長) 計3名
7	高知県立須崎工業高等学校 造船科	
8	長崎県立長崎工業高等学校 機械システム科造船コース	

* 商船高等専門学校5校は9月に卒業式を行う。